

事業実績書

令和4年 8月 25日

団体名 子ども体験実行委員会

事業の目的	綾部市での子どもたちの交流の場が不足しているので、こういった状況でも、綾部市内で賑わいをつくる機会をつくった。
事業の名称	遊びから学ぼう！あやべボードゲームの会
事業費 (市補助金)	103,837 円 (100,000 円)
補助金の使途	会場使用料、ボードゲームレンタル代、講師代、チラシのデザイン印刷代、会場設営と消耗品代等
事業の実施期日	令和4年8月24日水曜日
事業の実施場所	綾部市市民センター
事業の概要	<p>2019年からのコロナ禍により子どもたちが集まり遊ぶ機会は非常に少なくなりました。またあわせて家庭での時間が増えたことにより、多くの子どもたちの遊びはテレビゲームに費やす割合が多くなってしまいました。テレビゲームは悪者ではないが、やはり子どもたちの間で培われるべきコミュニケーション力の不足や、与えられるミッションをこなすばかりのゲームでは能動的に物事を考える力は衰えてしまいがちだ。ここしばらくのコロナウイルスの感染状況は以前よりは落ち着きを見せ、緊急事態宣言も発出されにくい状況。まん延防止の対策をとりつつ、そろそろ子どもたちが集まり、わいわいと楽しみながら学べる場を作る必要性を感じている。</p> <p>この事業では、ボードゲームを通してテレビゲームだけでない知的トレーニングや綾部で楽しく仲間同士のつながりづくりができる場を作りたいと考えている。ボードゲームに触れておくと、以前から広く知られているものを挙げると麻雀やモノポリーなどがそうだが、2000年頃から世界的に開発が活発に。また種類も高品質化し多様化。人同士の繋がりを重視したもの、単純な構成だが高度な推理が必要なものなど、種類は数限りなく、またその中で名作と呼ばれるものは世界で3000万個以上販売されるケースもある。また近年ボードゲームカフェと呼ばれる業態の拡大やボードゲームの漫画の登場、コンビニでの販売など、ブームのような状況だ。</p>

	<p>ボードゲームは学びという観点からは非常に有用で、創造性や先読み力、忍耐力、協調性など非認知能力(点数では測れない能力)を向上させると考えられる。このところの入学試験でこういった力を測ろうとする傾向がみられるが、能力や成績の向上に繋がったり学歴の取得に役立てられる。最近では新入社員の研修やプロジェクトのチームアップ、教材として使われるなど、有用性が認知されている。</p> <p>今回の事業では、午前に勉強する時間を設け、午後に講義としてボードゲームにどんな種類があるか、これから高校入試大学入試就職試験でどんな試験問題を解いていかなければならないかなどを伝える場を設け、その後グループに分かれて、様々なボードゲームを体験してもらった。ボードゲームをツールとして参加者全員が一日楽しめる賑わいづくりの場をつくった。参加人数は6人。</p>
<p>補助金の効果(成果)</p>	<p>今回の補助金によって綾部市市民センターの大きな会議室を一日借りることができ、チラシをつくって多くの人に広報して参加を促すことができた。しかし、新型コロナウイルスの新規感染者数が毎日高止まりしている中、予約されていた10人の内、3組のご家族(合計4人)も感染してしまい、少ない人数での開催となった。けれども、感染症対策という面からも、また、一人一人に丁寧に授業ができたという面からも、より質の高い会ができ、来てくれた子どもたちからも親御さんからもまた開催してほしいと言ってもらい、綾部市内で、賑わいをつくる機会をつくられた。</p>

様式第4号（第3条及び第7条関係）

収 支 計 算 書

令和4年8月25日

団体名 子ども体験実行委員会

(単位：円)

	区 分	予 算 額	収入済額	明 細
	収 入 の 部	市補助金	100,000	100,000
参加費		6,000	3,000	1人500円×6人
自己負担		1,200	837	
合 計		107,200	103,837	
	区 分	予 算 額	支出済額	明 細
	支 出 の 部	会場使用料	4,200	3,150
レンタル代		30,000	30,000	ボードゲーム30個のレンタル代
ボードゲーム		20,000	15,630	高校生用ボードゲーム5個追加
講師代		20,000	20,000	
チラシデザイン代		30,000	30,000	
会場設営と消耗品 代		3,000	1,790	ハンドテープカッター、チラシ送 付切手、スリーブ
勉強用問題集		0	3,267	午前中にその場で勉強してもら うための教材
合 計	107,200	103,837		
差 引		0	0	